

社会科における指導の重点(身に付けさせたい力) ※学習指導要領に照らし合わせて	
ア 知識及び技能	イ 思考力、判断力、表現力等
<ul style="list-style-type: none"> 社会的事象の情報について、図や表、グラフなどの分析をする。 自分で資料を読み取り、地図や年表等を作成する力を身に付けさせる。 社会的事象の情報について、図や表、グラフなどから読み取り、表現させる。 	<ul style="list-style-type: none"> 課題学習では、ICT 機器の活用により、資料の収集、処理や発表をさせる。 地図の読図や作図などの学習を通して、思考力や表現力の育成を図る。

	生徒の学力の状況(課題)	授業における具体的な手だて	手だての実施時期	成果検証(2月)
第1学年	<p>ア 社会的事象そのものよりも、関連する既習事項等に関する理解が難しい。 イ 学んだ内容を自身の言葉で表現することが難しい。</p>	<p>ア 資料集を活用し、単元ごとに理解を深められるようにしていく。 イ 毎回のプリントでまとめの時間をつくり、自分の考えをまとめさせる。</p>	年間を通じて	
第2学年	<p>ア 地理・歴史共に、基本的・基礎的な用語や地名の定着が難しい生徒がいる。 イ 教科書・資料集・タブレット端末を利用し、調べてまとめることができるが、情報を比較・検討することに課題がある。</p>	<p>ア 基礎的・基礎的な用語や地名などを確認できる小テストやプリントを定期的に行い、知識の定着を図る。 イ 複数の資料の着目する点を確認できるプリント等で比較・検討する力の定着を図る。</p>	年間を通じて	
第3学年	<p>ア 地理・歴史共に、基本的・基礎的な用語や地名の定着が難しい生徒がいる。 イ 文章や図表、グラフなどを読み取り、比較・検討することが難しい。</p>	<p>ア 資料集を活用し、単元ごとに理解を深められるようにしていく。 イ ワークなどを活用し、単元ごとに理解を深められるようにしていく。</p>	年間を通じて	

■「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実に向けた一人一台端末等 ICT の効果的な活用について	■学習の見通しをもたせることや学習を振り返ることの工夫等、「学びに向かう力」の育成に向けた取組について
<p>1学年:ICT で調べた内容をロイロノートやワークシートにまとめ、小グループで発表することができる。【重点:協働】</p> <p>2年生:ロイロノートやプロジェクターなどを使用し、視覚的に分かりやすいような資料を作成し、発表することができる。【重点:個人】</p> <p>3年生:自身の興味関心に応じて ICT を活用し、課題を調べ、根拠をもとに自分の主張についてロイロノート等を使用して発表することができる。【重点:個人】</p>	<p>【全学年】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元目標、学習内容について「学習カード」等に取り組み、学習内容を振り返させる。 ・授業で白地図等の作業や、複数の資料を比較して自己の考え方等を記入するワークシート等を通して、自分の学び方をよりよいものにする力を養う。

